

事業所名

たけっこ

支援プログラム

作成日

令和 7 年

1 月

15 日

法人（事業所）理念		子供たちに「遊び」を通じてしっかりと体を動かしてもらい、楽しみながらでこぼこの一つ一つを埋めていきます。										
支援方針		1. 事業所の指導員は、児童が「楽しさ、遊び」を通して、日常生活における基本動作を取得し、及び集団生活に適応する事ができるよう、その児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、楽しく習得できる場として適切な指導及び訓練を行うものとします。 2. 事業所の指導員等は、利用者及び児童の意思及び人格を尊重し、常に利用者及び児童の立場に立ってサービスの提供を行う事とします。 3. 事業の実施に当たっては、地域との結び付きを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。										
営業時間		平日 日・祝	9 9	時 時	30 00	分から 分まで	18 18	時 時	30 00	分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 手指衛生や咳エチケット等の基本的な感染予防行動の定着を図る。 利用者の感覚過敏やこだわり特性を考慮した衛生習慣の支援を行う。 自己表現の促進を目的とした、安心できる環境の提供。 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚遊具を活用した運動プログラムの実施。 個々の感覚特性に応じた支援。 運動を通じてボディイメージの向上に繋げる支援。 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> メタ認知能力の発達に向けて、自己の思考や行動を客観的に振り返る機会を設ける。 感覚統合を活用した活動（感覚刺激を取り入れた課題）を通して新しい状況に適応できる力を育む。 自身の意見を適切に伝え、感情のコントロールを養う。 										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や様々なシチュエーションに応じた言葉の使い方を学ぶ。 遊びや活動を通じた楽しみながら会話をする機会の提供。 										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 他者との適切な関わり方を身につけられる機会を設けることで協調性を高める。 遊びや活動を通じて共感することや相手の気持ちを考える力を養う。 集団生活でのルールを学び、社会性の向上に向けた支援。 										
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 発達の状況、支援内容、家庭での困りごとに対して相談の場を設ける。 家庭や仕事の事情による送迎の支援。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 卒業後の必要なスキル（衣服の着脱、整理整頓、排泄の自立等）を身につける。 日常的な連携に加えて、必要に応じて学校や保育園等と情報共有を図っていきます。 				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 事業所での支援内容を学校や保育園等とも共有し、統一した対応を行う。 地域の避難所を確認し、実際に避難訓練の実施。 学校休業日等に公共施設やお店等へ外出し、体験の機会を設ける。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 支援の質の向上に向けた、専門家による研修。 実際の支援場面を想定した事例検討会の実施。 チームワークの強化に向けた、情報交換の場を設ける。 				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 夏祭り ハロウィン祭り クリスマス会（クラウンショー） 買い物等の外出 										

事業所名

たけっこJ

支援プログラム

作成日

令和 7 年

1 月

15 日

法人（事業所）理念		子供たちに「遊び」を通じてしっかりと体を動かしてもらい、楽しみながらでこぼこの一つ一つを埋めていきます。										
支援方針		1. 事業所の指導員は、児童が「楽しさ、遊び」を通して、日常生活における基本動作を取得し、及び集団生活に適応する事ができるよう、その児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、楽しく習得できる場として適切な指導及び訓練を行うものとします。 2. 事業所の指導員等は、利用者及び児童の意思及び人格を尊重し、常に利用者及び児童の立場に立ってサービスの提供を行う事とします。 3. 事業の実施に当たっては、地域との結び付きを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。										
営業時間		平日 日・祝	9 9	時 時	30 00	分から 分まで	18 18	時 時	30 00	分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 手指衛生や咳エチケット等の基本的な感染予防行動の定着を図る。 利用者の感覚過敏やこだわり特性を考慮した衛生習慣の支援を行う。 自己表現の促進を目的とした、安心できる環境の提供。 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚遊具を活用した運動プログラムの実施。 個々の感覚特性に応じた支援。 運動を通じてボディイメージの向上に繋げる支援。 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> メタ認知能力の発達に向けて、自己の思考や行動を客観的に振り返る機会を設ける。 感覚統合を活用した活動（感覚刺激を取り入れた課題）を通して新しい状況に適応できる力を育む。 自身の意見を適切に伝え、感情のコントロールを養う。 										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や様々なシチュエーションに応じた言葉の使い方を学ぶ。 遊びや活動を通じた楽しみながら会話をする機会の提供。 										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 他者との適切な関わり方を身につけられる機会を設けることで協調性を高める。 遊びや活動を通じて共感することや相手の気持ちを考える力を養う。 集団生活でのルールを学び、社会性の向上に向けた支援。 										
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 発達の状況、支援内容、家庭での困りごとに対して相談の場を設ける。 家庭や仕事の事情による送迎の支援。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 卒業後の必要なスキル（衣服の着脱、整理整頓、排泄の自立等）を身につける。 日常的な連携に加えて、必要に応じて学校や保育園等と情報共有を図っていきます。 				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 事業所での支援内容を学校や保育園等とも共有し、統一した対応を行う。 地域の避難所を確認し、実際に避難訓練の実施。 学校休業日等に公共施設やお店等へ外出し、体験の機会を設ける。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 支援の質の向上に向けた、専門家による研修。 実際の支援場面を想定した事例検討会の実施。 チームワークの強化に向けた、情報交換の場を設ける。 				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 夏祭り ハロウィン祭り クリスマス会（クラウンショー） 買い物等の外出 										

事業所名

たけっこS

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

15日

法人（事業所）理念	子供たちに「遊び」を通じてしっかりと体を動かしてもらい、楽しみながらでこぼこの一つ一つを埋めていきます。											
支援方針	1. 事業所の指導員は、児童が「楽しさ、遊び」を通して、日常生活における基本動作を取得し、及び集団生活に適応する事ができるよう、その児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、楽しく習得できる場として適切な指導及び訓練を行うものとします。 2. 事業所の指導員等は、利用者及び児童の意思及び人格を尊重し、常に利用者及び児童の立場に立ってサービスの提供を行う事とします。 3. 事業の実施に当たっては、地域との結び付きを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。											
営業時間	平日 日・祝	9 9	時 時	30 00	分から 分まで	18 18	時 時	30 00	分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 手指衛生や咳エチケット等の基本的な感染予防行動の定着を図る。 利用者の感覚過敏やこだわり特性を考慮した衛生習慣の支援を行う。 自己表現の促進を目的とした、安心できる環境の提供。 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚遊具を活用した運動プログラムの実施。 個々の感覚特性に応じた支援。 運動を通じてボディーイメージの向上に繋げる支援。 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> メタ認知能力の発達に向けて、自己の思考や行動を客観的に振り返る機会を設ける。 感覚統合を活用した活動（感覚刺激を取り入れた課題）を通して新しい状況に適応できる力を育む。 自身の意見を適切に伝え、感情のコントロールを養う。 										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や様々なシチュエーションに応じた言葉の使い方を学ぶ。 遊びや活動を通じた楽しみながら会話をする機会の提供。 										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 他者との適切な関わり方を身につけられる機会を設けることで協調性を高める。 遊びや活動を通じて共感することや相手の気持ちを考える力を養う。 集団生活でのルールを学び、社会性の向上に向けた支援。 										
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 発達の状況、支援内容、家庭での困りごとに対して相談の場を設ける。 家庭や仕事の事情による送迎の支援。 					移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 卒業後の必要なスキル（衣服の着脱、整理整頓、排泄の自立等）を身につける。 日常的な連携に加えて、必要に応じて学校や保育園等と情報共有を図っていきます。 				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 事業所での支援内容を学校や保育園等とも共有し、統一した対応を行う。 地域の避難所を確認し、実際に避難訓練の実施。 学校休業日等に公共施設やお店等へ外出し、体験の機会を設ける。 					職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 支援の質の向上に向けた、専門家による研修。 実際の支援場面を想定した事例検討会の実施。 チームワークの強化に向けた、情報交換の場を設ける。 				
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 夏祭り ハロウィン祭り クリスマス会（クラウンショー） 買い物等の外出 											

事業所名

たけっこ稲沢

支援プログラム

作成日

令和 7 年

1 月

15 日

法人（事業所）理念		子供たちに「遊び」を通じてしっかりと体を動かしてもらい、楽しみながらでこぼこの一つ一つを埋めていきます。										
支援方針		1. 事業所の指導員は、児童が「楽しさ、遊び」を通して、日常生活における基本動作を取得し、及び集団生活に適応する事ができるよう、その児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、楽しく習得できる場として適切な指導及び訓練を行うものとします。 2. 事業所の指導員等は、利用者及び児童の意思及び人格を尊重し、常に利用者及び児童の立場に立ってサービスの提供を行う事とします。 3. 事業の実施に当たっては、地域との結び付きを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。										
営業時間		平日 日・祝	9 9	時 時	30 00	分から 分まで	18 18	時 時	30 00	分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 手指衛生や咳エチケット等の基本的な感染予防行動の定着を図る。 利用者の感覚過敏やこだわり特性を考慮した衛生習慣の支援を行う。 自己表現の促進を目的とした、安心できる環境の提供。 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚遊具を活用した運動プログラムの実施。 個々の感覚特性に応じた支援。 運動を通じてボディイメージの向上に繋げる支援。 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> メタ認知能力の発達に向けて、自己の思考や行動を客観的に振り返る機会を設ける。 感覚統合を活用した活動（感覚刺激を取り入れた課題）を通して新しい状況に適応できる力を育む。 自身の意見を適切に伝え、感情のコントロールを養う。 										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や様々なシチュエーションに応じた言葉の使い方を学ぶ。 遊びや活動を通じた楽しみながら会話をする機会の提供。 										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 他者との適切な関わり方を身につけられる機会を設けることで協調性を高める。 遊びや活動を通じて共感することや相手の気持ちを考える力を養う。 集団生活でのルールを学び、社会性の向上に向けた支援。 										
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 発達の状況、支援内容、家庭での困りごとに対して相談の場を設ける。 家庭や仕事の事情による送迎の支援。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 卒業後の必要なスキル（衣服の着脱、整理整頓、排泄の自立等）を身につける。 日常的な連携に加えて、必要に応じて学校や保育園等と情報共有を図っていきます。 				
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 事業所での支援内容を学校や保育園等とも共有し、統一した対応を行う。 地域の避難所を確認し、実際に避難訓練の実施。 学校休業日等に公共施設やお店等へ外出し、体験の機会を設ける。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 支援の質の向上に向けた、専門家による研修。 実際の支援場面を想定した事例検討会の実施。 チームワークの強化に向けた、情報交換の場を設ける。 				
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 夏祭り ハロウィン祭り クリスマス会（クラウンショー） 買い物等の外出 										